

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻				
科目名称[英語名称]	環境保全園芸学特別実験				授業形態	実験			
科目コード		単位数	12	配当学年	1年	実務経験教員担当		アクティブ ラーニング	○
教員氏名	山口 健一								
授業概要	農学系専門分野の一つとして「環境保全園芸学」に関する高度な実験科学的研究テーマを定め、植物保護・防疫について、その背景、実験手順・内容およびデータ解析の方法を習得することを目的とする。								
関連する科目	履修中： 環境保全園芸学特論Ⅰ・Ⅱ、環境保全園芸学特別演習Ⅰ・Ⅱ								
授業の進め方と方法	受講生が予め合意した研究課題について、関連する知識を得ながら研究手法を修得する。修了前に学会等研究報告を経て修士論文を完成させる。								
授業計画	01-12. 授業の進め方 研究テーマについて討議する。 13-24. 共通高度手法の修得[1] 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。 25-36. 共通高度手法の修得[2] 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。 37-48. 共通高度手法の修得[3] 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。 49-60. 共通高度手法の修得[4] 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。 61-72. 共通高度手法の修得[5] 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。 73-84. 研究中間報告／学会発表 修論研究の中間報告または学会発表を行う。 85-96. 個別高度手法の修得[1] 研究テーマに必要な高度手法を学ぶ。 97-108. 個別高度手法の修得[2] 研究テーマに必要な高度手法を学ぶ。 109-120. 個別高度手法の修得[3] 研究テーマに必要な高度手法を学ぶ。 121-132. 論文作成ガイダンス 修士論文の作成方法について学ぶ。 133-144. 論文作成[1] 修士論文を作成する。 145-156. 論文作成[2] 修士論文を作成する。 157-168. 修論研究発表準備 プレゼンテーションの準備を行う。 169-180. 修論研究発表 プレゼンテーションを行う。								
学位授与の方針(DP)との 関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力	(1)	○	(2)					
	2. 汎用的技能を応用し活用する能力	(1)	○	(2)					
	3. 人間力、社会力、国際性の涵養	(1)		(2)		(3)			
(4)			(5)						
授業の到達目標	「環境保全園芸学」に関する高度な知識および研究手法について理解するとともに、当該分野における問題解決能力を修得する。								
授業時間外の学修	次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習する。(30分程度) 授業ノートおよび配布資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。(1時間程度)								
課題に対するフィードバック	授業内で出た質問等については、補足および理由を付して正答を示す。								
評価方法・基準	研究報告・学会発表(50点)と論文提出(50点)で評価する。								

テキスト	授業内容に関する資料・論文や参考となる図書を都度配布・紹介する。
参考書	授業の進展にそって、関連する参考書や資料・論文等を適宜紹介する。
備考	